

平成27年度 学校関係者評価書

学校名		北海道札幌西高等学校定時制	
組織名		学校評議員会	
評価者		・学校評議員5名	

1 本年度の重点目標

1 生徒の能力・適性に応じた「わかりやすい授業」を研究し、興味関心がわく学習指導を展開する。
 2 生徒一人一人の個性を尊重し、その主体性を重んじるとともに、豊かな心を育む教育活動の充実に努める。
 3 進路目標の実現に向けて、計画的な進路指導の充実を図る。

重点目標の適切さ

達成度と設定レベルは適切であると思う。
 ・それぞれの目標に向け、更に取組を推進していただきたい。

2 自己評価結果

評価項目	指標・結果等	「達成状況」自己評価	「取組の適切さ」自己評価	今後の改善の方策	自己評価の結果の内容の適切さ	今後の改善方策の適切さ
学習指導	【指標】 生徒実態アンケート調査の設問「授業の内容をどの程度理解していますか。」において、①「ほとんど全てがわかる」と②「7割くらいわかる」の合計が50%以上 【結果】 5月41.0%、11月52.1%	2.7	2.6	学習指導に関する研修及び授業評価等を取り入れ、①及び②の生徒層の満足度を上げるとともに、学校内外のあらゆる機会を活用して基礎学力の定着を図っていく。	3.3	3.5
	【指標】 生徒実態アンケート調査の設問「ふだんの1日の家庭学習時間はどれくらいですか。」において、①「まったくしない」が50%未満 【結果】 5月48.7%、11月52.1%	2.9	2.5	定期考査の有効活用や週末課題の改善・充実を図るとともに、キャリア教育の視点や将来の生活設計と結び付けた効果的な指導方法を検討する。	3.3	3.5
評価者の意見等	・個に応じた週末課題を作成し、生徒に課していただきたい。 ・主体的・協働的学びの校内研修の中でも成果が出ている。 ・学びの尊さについて、時間を割いて、御指導いただきたい。					
生徒指導	【指標】 生徒実態アンケート調査の「あなたはいじめはどんな理由があっても許されない事だと思いますか。」において、「そう思う。」の回答率が100% 【結果】 5月63.0%、11月64.0%	2.5	2.6	今後、生徒指導部通信や全校集会での指導を充実させるとともに、アンガーマネジメントに係る研修及び職員会議等での情報交換を密に行っていくこととする。	3.5	3.8
評価者の意見等	・達成度と設定レベルは適切である。 ・先生と生徒との対話を踏まえ、目標と指標を更に絞り込んでいただきたい。 ・社会人や卒業生との交流を継続するなど、様々な活動を通して、豊かな心を育んでいただきたい。					
進路指導	【指標】 進路未決定者数をゼロとする。 【結果】 進路未決定者数がゼロとなった。	3.3	3.2	今年度、進路相談員や、担任・進路指導担当者が連携を深めて指導を行った結果、成果があったことから、次年度は低学年からの計画的な進路指導の充実を図るとともに、学年ごとの進路目標を設定し、効果的な指導方法を検討する。	4	4
評価者の意見等	・進路目標の実現に向け、今年度同様、計画的な進路指導の充実に努めていただきたい。 ・新聞に掲載された様々な取組や教育活動が、成果となって進路実績につながったと思います。 ・今後も、進路未決定者ゼロを目標に、ご指導、お願い申し上げます。 ・社会との接点を可能な限り増やしていただきたい。職場体験の必要性についての指導をよろしくお願いします。					

【評価基準】

※自己評価の結果の内容の適切さ 4:十分適切な取組である 3:概ね適切な取組である 2:適切とはあまり言えない取組である 1:適切とは言えない取組である
 ※今後の改善方策の適切さ 4:十分な効果が期待できる 3:ほぼ十分な効果が期待できる 2:効果があまり期待できない 1:全く効果は期待できず、改善を要する